

第30回胸部放射線研究会東京部会プログラム(16:05~18:15)

●特別講演(16:05~16:45) 座長:楠本昌彦(国立がんセンター中央病院)

「原因不明の間質性肺炎の画像診断」上甲 剛 先生

(大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻機能診断学)

要旨:原因不明の間質性肺炎の分類は ATS-ERS のコンセンサスレポートによりひと段落がついた感がある。本講では、これに組み込まれた、AIP, COP/BOOP, NSIP, UIP, DIP, RB-ILD, LIP という7つの疾患について高分解能CT像とその病理学的背景について概説する。

■一般演題 I (16:50~17:30)(発表5分, 討論3分) 座長:荒川浩明(獨協医大)

1. 多発肺外病変を伴った良性転移性肺平滑筋腫(Benign metastasizing leiomyoma)の1例

杏林大学・放 同・一内¹⁾ 同・病理²⁾

横山健一, 中嶋美佳, 稲岡祥幸, 高橋修司, 鈴木清寿, 似鳥俊明, 蜂屋順一, 倉井大輔¹⁾, 後藤 元¹⁾, 西村ゆう²⁾, 藤岡保範²⁾

要旨:44歳,女性。13年前に,子宮筋腫で子宮全摘術施行された。両肺の多発結節影の他,腹壁や大腿部に腫瘤が認められたため来院。各々の腫瘤から病理にて平滑筋腫の診断が得られた。

2. 若年性肺癌の1例

慶應義塾大学・放

伊東伸剛, 長谷川市郎, 杉浦弘明, 中野敬子, 謝 毅宏, 栗林幸夫

要旨:肺血栓症にて発症した若年性肺癌の1例を報告する。症例は33歳男性。胸痛が再発したため当院を受診したところ,CT上は縦隔肺門リンパ節腫脹とconsolidationを認めた。気管支鏡下生検にて腺癌と診断された。

3. 単純写真で20年間経過を追跡し得た縦隔脂肪肉腫の1例

共立蒲原総合病院・放 山梨大学・放¹⁾ 市立甲府病院・放²⁾

松本敬子, 加藤 聡¹⁾, 斉藤彰俊²⁾, 南部敦史¹⁾, 荒木 力¹⁾

要旨:単純写真で20年間経過を追跡し得た縦隔脂肪肉腫の1例について,文献的考察を加えて報告する。

4. 市中肺炎と非感染性肺炎のHRCT所見の比較検討

山梨大学・放 市立甲府病院・放エラー! リンクが正しくありません。同・内エラー! リンクが正しくありません。

南部敦史, 荒木 力, 斉藤彰俊エラー! リンクが正しくありません。 , 小澤克良エラー! リンクが正しくありません。 , 大木善之助²⁾, 山口 弘²⁾

要旨:市中肺炎とBOOP等の非感染性の肺炎では治療方針が全く異なり,その鑑別は重要である。今回の発表では両者のHRCT所見の違いについて検討する。

5. 前縦隔に発生したhypervascular tumorの1例

昭和大学横浜市北部病院・放 同・呼吸器センター¹⁾ 同・病理²⁾

鈴木美奈子, 藤澤英文, 大橋信子, 浮洲龍太郎, 北之園高志, 市川珠紀, 武中泰樹, 櫛橋民生,

北見明彦¹⁾, 神尾義人¹⁾, 門倉光隆¹⁾, 塩川 章エラー! リンクが正しくありません。

要旨:63歳女性。大腸癌術前検査で前縦隔腫瘍が指摘された。CT, MRIでは7cm大の富血管性前縦隔腫瘍で,腫瘍内の拡張血管と左内胸動脈の拡張がみられた。出血減少目的のTAE後に全摘術が施行された。

■一般演題 II (17:35~18:15)(発表5分, 討論3分) 座長:甲田英一(東邦大学大橋病院)

6. 検診で発見された肺および肝の好酸球性肉芽腫症の1例

国立がんセンター中央病院・放診 同・呼吸器外科¹⁾ 同・研究所病理部²⁾

長井俊治, 楠本昌彦, 前島新史²⁾, 立石宇貴秀, 水口安則, 渡辺俊一¹⁾, 森山紀之

要旨:症例は51歳男性。無症状。人間ドックで肺・肝多発結節を指摘され当院紹介。多発肺・肝転移を疑って原発巣の検索を行ったが診断に至らず,確定診断のため小開胸部分切除施行し,病理学的に好酸球性肉芽腫と診断された。

7. 急性増悪を来したWegener肉芽腫症の1例

旭川医科大学・放 同・一内¹⁾ アイオワ大・放²⁾

稲岡 努, 高橋康二²⁾, 山田有則, 長沢研一, 佐藤宏朗, 油野民雄, 中尾祥子¹⁾

要旨:54歳,女性。25年前よりWegener肉芽腫症にて治療を受けていた。胸部症状が出現したため胸部CT

を施行した。巨大な空洞病変を認め、急性増悪が疑われた、

8. 胆嚢癌びまん性肺転移の1剖検例

獨協医科大学・放 羽生総合病院・内¹⁾ 同・病理²⁾

荒川浩明, 徳永隆成¹⁾, 桑島良夫²⁾

要旨:症例は 67 歳女性。急速に増悪する呼吸困難感があり, 画像診断ではびまん性スリガラス影を認めた。臨床的に, 急性間質性肺炎と考え治療したが, 約3週間の経過で死亡, 剖検が行われた。

9. 中葉に多発集簇して発生した硬化性血管腫の1例

日本医科大学付属第二病院・放

石渡京子, 佐藤雅史, 椎葉真人, 奥山孝男, 阿部和也, 金城忠志, 山田丈士, 高橋政之, 鶴田晴子,
梶原景子, 山本 彰

要旨:症例は 19 歳女性。13 歳時中葉に多数の小結節の集簇を認め, 肺結核として治療を受けた。6 年後結節数が増大, 確定診断も兼ね, VATS にて病理学的に硬化性血管腫と診断された症例について, 文献的考察を加え報告する。

10. 初期に限局性スリガラス状陰影を呈した肺クリプトコッカス症の1例

埼玉県立循環器・呼吸器センター・放

叶内 哲, 星 俊子, 加藤晃弘, 加藤貴子

要旨:59 歳の女性。3 年前に肺腺癌 T1N0M0 に対し右上葉切除。経過観察の CT で, 左下葉に限局性スリガラス状陰影が出現, 2 ヶ月後に濃厚な結節様陰影に変化した。胸腔鏡下手術が施行され, クリプトコッカス症と診断された。